

SmartLife

加古川市立加古川中学校
エネルギー教育モデル校通信

No. 27

2017/01/31

-スマートライフ-

1年生大阪ガス科学館見学

1月26日（木）、1年生が、「わくわくオーケストラ」鑑賞の後に、大阪にある「大阪ガス科学館」を見学しました。館内は、クイズあり、映像あり、体験・実験コーナーと盛りだくさんで、クラスごとにコンパニオンの説明を受けながら、楽しくエネルギーの学習をしました。

1年生は、理科や社会科の授業で、エネルギーについて学習する機会はありませんでしたが、学年全体で学習する機会は初めてです。今回の見学で、実感できたことを、これからの学習にいかしてください。



「日本のエネルギー」を参考に！

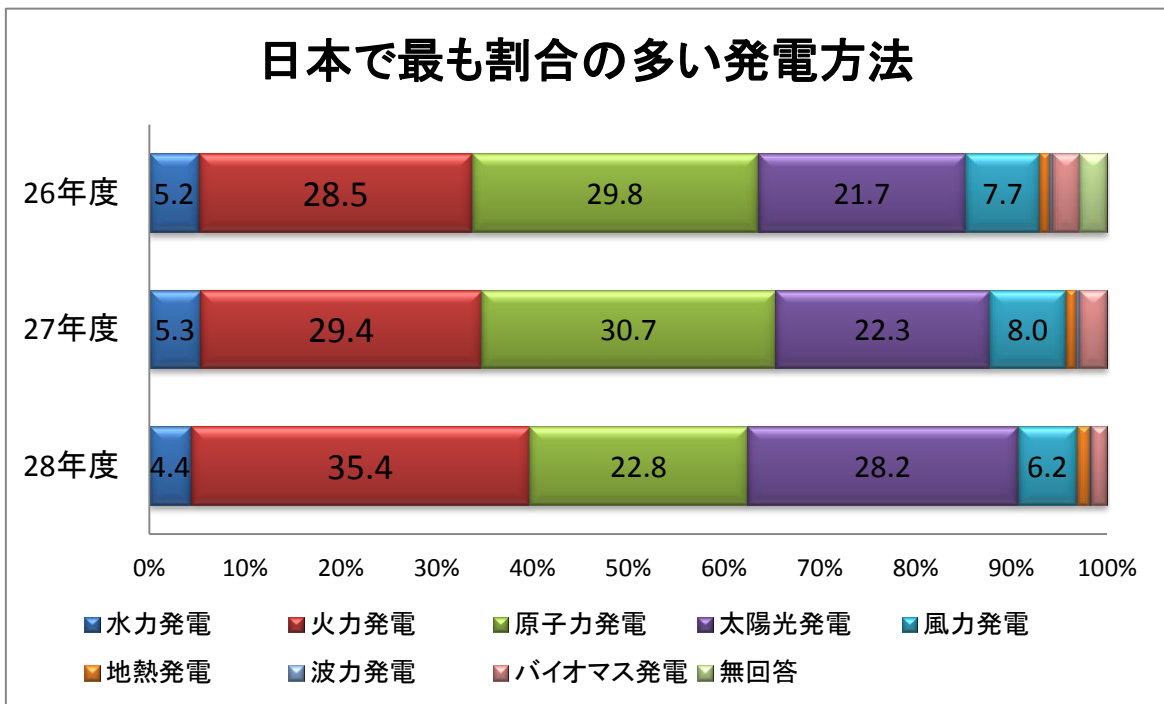
資源エネルギー庁から「日本のエネルギー2016年度版」が発行されました。学校にももうすぐ届きますが、最新の情報が掲載されていますので、ぜひ、下のアドレスにアクセスし、エネルギー環境学習の参考にしましょう。

<http://www.enecho.meti.go.jp/about/pamphlet/>



日本の火力発電割合は87.8%

10月に実施したアンケートでは、「日本で最も割合の多い発電方法は」の問いに、35.4%の生徒が火力発電と正解しました。3年間を通して、最も多くの生徒が正解したことになり、モデル校を続けてきた成果ともいえます。しかし、不正解が6割以上いることは間違いのない事実です。私たちは、たくさんの電気を使いながら、その発電方法も知らないのです。



右のグラフを見てください。主な国の発電方法割合が示されています。このグラフは、先ほど紹介した「日本のエネルギー」から抜粋しました。

少し読み取りにくいかもしれませんが、日本は、石炭、石油その他、天然ガスを原料とする火力発電が87.8%を占めています。結構増えたと思っている太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギー発電はわずか3.2%で、原子力は0%という状況です。

このままでいいのでしょうか。一度、考えてみましょう！

